



有識者会議の発言概要

令和6年8月2日に「第4回 MOVE NEXT UTSUNOMIYA 事業推進有識者会議」を開催し、下記のような意見を得た。

報告事項（MNU事業の進捗状況について）

- 全体として、非常によい取組をしている。
- 効果を測定し、**定量的な結果を出していることは素晴らしい。今後も定量的評価を継続していくことが望ましい。**
- ニュースレターやチラシなど、「紙媒体」での周知方法も重要
- 「バスバス乗継割引」や「バス定期券購入補助制度」のチラシなど、色やフォントに統一感がないので、今後作成するときはMNUのブランディングを意識したデザインにすると良い。
- MMはほとんど永続的に実施しないといけないものなので、今後も予算を確保して**長期に渡ってMMを行うためにも、エビデンスを確実に確保していく必要がある。**

協議事項（R7年度以降のMNU事業の進め方について）

- 西側延伸に向けて、**ソフト事業と紐づけたMMを展開していくことは非常によい着眼点である。**
- 熊本市の「バス待ち処」のような、**「新たな待合環境向上施策」は大変良い取り組みである。**
- 子どもなどに対し、交通事業者の制服を着てもらい**実際に車両に乗ってもらうような体験型の施策は大変良く、実施すべき。**
- 例えば「MNUモニター制度」のような、市が市民に対して認証するようなシステムを設計し、「自分がこの事業に携わっているんだ」という意識を持ってもらうのも良いのではないかと。
- **totraのデジタル化は非常に良い施策であるので、ぜひ積極的に進めてもらいたい。**
- 事業が着実に進捗していることが伺える。当会議は、今後年1回程度を目途に開催していく。